

JMRA 使用欄	受付番号	受付日	受付者

JMRA-RDA 様式 2

J M R A リサーチ・データ・アーカイブ

調 査 概 要

調査 ID	
調査名	対象者の代表性を担保するための抽出方法探索
寄託社	社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会 調査技術研究部会 伝統的調査法の研究委員会
利用方法	伝統的調査法の研究委員会の研究のため
調査概要	割当法の調査精度を検証することを目的とする。検証にあたっては、前研究委員会で実施した住民基本台帳からのサンプリング調査と住宅地図からのサンプリング調査との比較を行う。 また、今回は2種類の割当法(A; 性×年代、B; 性×年代及び住居形態(一戸建て or 集合住宅)を用いたので、割当項目が増えることにより調査難度や調査精度にどのような影響を及ぼすのかを探ることも目的とする。
調査対象	20～69 歳の男女個人
データ数	A 調査、B 調査ともに各 20 地点、200 名。合計 40 地点、400 名
調査時点	2008 年 10 月
調査地域	首都 40km 圏
標本抽出	無作為抽出法
調査方法	訪問留置法
調査実施者	(株式会社)RJC リサーチ
報告書(論文)	(仮題)「対象者の代表性を担保するための抽出方法探索」(2009 年 4 月ごろ発行予定)
関連論文等	
主要調査事項	アンケート事項: ふだんの生活や情報
利用上の注意	